



2月号
八郷町役場

人口と戸数(2月末)
世帯数 5,743
人口 {男 16,292
女 16,955
計 33,247}

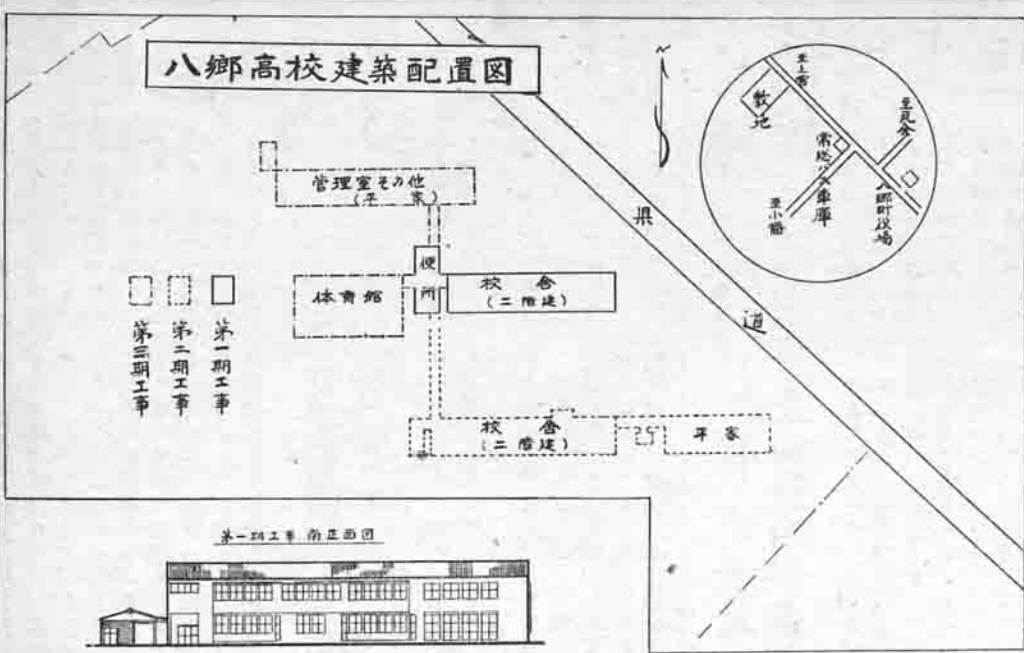
八郷高校四月開校

突貫工事で校舎建築

八郷高校(当分は石岡一高八郷分校)の四月開校が本きまりとなつたので、町は常陽建設をして突貫工事で校舎の建築を開始した。高校設置は山根地方の宿願であり、地方文化史の一頁を飾るものではあるが、八郷町建設初期の一大事業であつて、これが完成には町民の力強い協力が望まれる。その建設計画の概要は次のとおりである。

町で施設して完成後、県に移管する。

この高校は石岡一高八郷分校として、全日制普通科(農業教育を重視する)の定員一五〇名の男女共学で、才一年次のこの春は五〇名を募集する。



年 度	支出額	内 訳				財 源 (金 出 所)
		校地費	建築費	設備費	経常費	
昭和31年度	13,742	2,080	9,470	2,192	—	町一般財源から 13,742千円
昭和32年度	9,807	500	6,330	2,258	721	" 9,807
昭和33年度	15,691	—	11,370	3,455	866	" 15,691
昭和34年度	895	—	—	—	895	" 895
計	40,137	2,580	27,170	7,905	2,482	" 40,137

(写真) 着手した八郷高校校舎の建築現場

建設事業費と経常費の支出方法

高校建設の経費は上の表のような年次計画で支出することになり、その財源は町の一般財源でまかなわれる。

校舎の建築

校舎などの建物は図面の通りに三ヶ年計画で建築整備するが、才一年次建築計画の校舎、木造二階建てスレート瓦葺一棟二七二坪と、便所(渡廊下を含む)木造二階建てスレート瓦葺二棟三七坪、計三〇九坪の建築は、町議会に於て慎重審議の結果、請負工事費、八五〇万円で常陽建設工業株式会社に着手した。



写真(左) 高校建築起工式



八郷高校 定員突破

八郷高校の入学志願者は、定員五〇名に対し六八名(男四六名、女二二名)の願書を受付けた。

この程八郷住民多年の宿望でありました県立高校設置が正式決定を見まして、校舎建築起工の運びとなりましたことは、皆様とともに同慶にたえません。

この高校は石岡一高八郷分校として、全日制普通科(農業教育を重視する)の定員一五〇名の男女共学で、才一年次のこの春は五〇名を募集する。

この事業は、健全財政の確立に全町あげて努力した

八郷高校の起工にあたって

町 長

私はこの事業を遂行したためには、一面に於て不急不要の町費は極力これを節減し、他面において納税の積極的な向上をはかり、あくまで町の自力による建設資金で、これを完成可能を確信いたしております。

八郷高校など 議決

八郷町臨時議会

町では二月十二日午後一時より臨時議会をひらいて、つぎの事件を附議決定した。

○八郷町議会総務委員長の選任。

○石岡一高八郷分校全日制課程設置条件の受諾についてその他高校建設に関する議案四件。

○高校校舎建築について随意契約で常洋建設工業株式会社に請負はせる事になった。

○八郷町才出才入追加更生予算。

○国保運営協議会委員の選任など。

総務委員長は

永井 要氏



八郷町議会では、滑川好道氏の副議長就任で、総務委員長が欠員になつていたが、十二日の臨時議会で、永井要氏が全会一致で選任された。

国保運営協議会 委員選任

八郷町国保運営協議会委員のうち、真家善作氏外七名が任期が満了したので、去る十二日の町議会に附議、選任された。

選任された委員次のとおり

被保険者代表

真家善作(真家) 鴻巣久雄(小野越) 前沢吉太郎(大塚)

高橋三郎(下青柳)

医師又は歯科医師代表

滝田源三郎(柿岡) 吉田次郎(柿岡) 枝弘三(柿岡)

公益代表

市塚大喜(片岡)

移動図書館

三月巡回日程

巡回月	ステーション名	到着時刻	出発時刻	車庫時刻
三月(水)	関部(支所前)	9.30	10.20	10.20
	瓦会(支所前)	10.40	11.30	11.30
	志瀬(支所前)	12.30	1.20	1.20
	柿岡(改相前)	1.50	2.40	2.40
	林(支所前)	3.00	3.50	3.50
	芦穂(支所前)	10.00	10.50	10.50
	小幡(公民館)	11.20	12.10	12.10
	小幡(月間局)	1.30	2.20	2.20
	小幡(月間局)	1.30	2.20	2.20
	小幡(月間局)	1.30	2.20	2.20

公民館研究会

二月六日、柿岡公民館で、新治郡公民館連協と八郷町教育委員会主催で、公民館研究会が開催され、公民館各部活動(産業講座、青年学級、読書の集い、婦人学級)を公開、「公民館運動の意識を高めるにはどのようにしたらよいか」の議題で研究討議が行はれ、盛会であつた。

給食パンの問題

最近学校給食用パンに、不良なものがあつてこまるという声を各方面からきかれますが、パンの委託製造業者の方々に特段の注意をお願いしたい。委員会としても、これからは随時製造所を見まわつて、監督することになります。監督することには不良パンがなくならない場合は、別の方法を考えねばならないとも考えていますので、えんりやないご注意をお願いします。

(教育長)

土曜支所勤務をやめる

農委事務局職員の土曜日支所勤務をとりやめることになったので、これから農地問題についての相談は地元農業委員会にお願いします。

(農委事務局)

時間励行

○ソレまた火事だ!と毎日どこかで火事のある時期です。下館の大火は去年の四月二十一日。寒のゆるみが気のゆるみとならぬよう。

われらの據金でアジアの善隣を

募 金 目 標
全国の目標は一億五千万円
当町の目標は、四万六千円程
である。

- その他アジア善隣のために必要な仕事資金
- インドネシアに医療機関の贈呈費
- セイロンに、仏典編纂の援助をする費用
- ヴェトナム、カンボジア、ラオス、タイ、マレー等に対する親善慰問物資の贈呈

- ビルマに大仏像及び戦没英霊供養のための仏塔建設資金の贈呈
- インドネシアに医療機関の贈呈費
- セイロンに、仏典編纂の援助をする費用
- ヴェトナム、カンボジア、ラオス、タイ、マレー等に対する親善慰問物資の贈呈

十年一昔というが、戦争が終つてから十一年、国内の生産も国民の生活も一応立直つてきたけれども、これまで戦争の復讐と久しく占領政策の下に置かれたことのために、われわれ日本国民にとつてどうにもならない事情が多かつた。

われわれは限りなく日本を愛し、日本国民の生長を心から信頼するものである。われわれは日本と日本国民の将来について、自主的にかつ真剣に考へてみる必要を感じ、そして今がその最もよい時機であると信ずるものである。

戦争につきまといつた暗

アジア善隣の趣意

勢に想を致すならば、われわれは日本国民の名において、片時もアジアを忘れることはできない筈である。また日本の将来の行手がアジアを離れて他ならないことも確かである。そののみか今日心あるアジアの有識者は物心両面にわたつ

て、われわれ日本との協力提携の急務を呼びかけてさるゝのである。それは決して偶然の出来事ではないであらう。失われた幾多の精進を慰め、アジアを解放し、アジアと共に生きようとするアジア民族の共通の秘められた血の叫びに外ならないであらう。

段階でもない。要は日本国民の責任ある態度と誠実な実行をもつてアジア諸国民の対日誤解と悪感情を拭き去り、真に心と心の触れ合いを取り結ばねばならぬ。われわれはこの意味において、汎く日本全国九千万同胞のアジアに対する情熱と道義心に訴へるものである。謂はば類焼の厄を蒙つた隣家に對して、まず火元としての道義的責任を率直に披瀝し、アジア建設に對するわれわれの奉仕的精神を明示し、かくすることによつてアジア諸国との善隣友好関係の礎をとりつけ、漸を追うて必要と認められ

歳末たすけあいの成績

年末に行われた、歳末たすけあいの北海道冷害救済運動の成績は次のとおりで、皆さんの温かい気持ちをそれぞれに送りどけました。

地区名	北海道冷害救済金	合計
北 部	2,170	24,170
中 部	10,000	21,200
南 部	4,580	15,080
東 部	3,000	14,625
西 部	8,200	16,610
南 部	5,000	15,700
東 部	8,880	25,880
西 部	5,000	12,900
合 計	45,950	146,165

北海道からきたお礼状
「しろいおこめ」
ことしはきようさくで、す

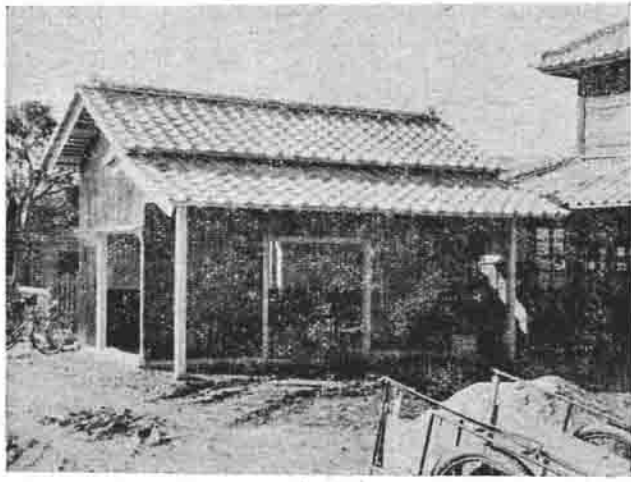
きなどうきびもたべられず、あきになつても、いもとかぼちやで、学校へもつていくおべんとうにこまつていました。が、よくばから白のおこめをたくさんいただいた、白のおこめのおべんとうをもつて学校へいくのがたのしいです。

これは北海道道民課で編集した「お礼のことば」集から抜き書きしたものです。私どものやさやかな気持ちも冷害地の人たちにこんなによろこんでいただけたかと思うと、ほんとによかつたと思います。



特別助成事業 着々進む

農村振興特別助成事業の各施設は、二月に入つてからほとんどはかどつていますが、中でもこの写真の二つなどは間もなく完成する。



【写真説明】
(上)一之沢共同集荷所
小幡地区一之沢部落が建設したもので、建坪二〇坪で、工費四三万円、柿・栗などの特産物の建設をもちろんでいる。特に骨を折つてゐる部落の代表者藤田平一郎氏、寺田光氏等。

(下)小幡農協集乳所
農協構内に建築、建坪六・五坪、工費一四万円、中に構築した冷却用水槽の給水は、自動給水ポンプを設備する。この

れと同型の集乳所が町内に八ヶ所出来る。

●原子力博覧会 瀧田 玉水
原子博覧会のほりやバス列の春装の夜光時計にガイガー鳴る連鎖反応の夜空のそれのごと

加波山愛鳥会 生れる
大増の中田温英氏等十数氏は、さき程加波山愛鳥会(主目白)を結成、広く同好者の入会を歓迎してゐる。趣旨はすべての野鳥の愛護と保存を旨とし、心なき人々の空気を射殺、その他乱獲を防止しようとするものである。

申告所得税の納税のおすめ
一、昭和三十一年度申告所得税の確定申告と才三期分の納税は二月十六日より三月十五日限りとなつて居ります。今から納税の準備をされて期限内申告と納税に御協力願ひます。

町歌募の入選さまる
八郷町歌募3号で募集した八郷町の町歌は、県教育庁漆野先生に依頼して厳選の結果、次の二篇が選ばれた。マークはまだ選考を終つていないので、追つて発表される。

地区名	予約申込量	出荷数量	予約申込みに対する%
柿 岡	2,170.4	2,183.2	100.6
小 幡	2,978.8	2,986.0	100.2
芦 穂	2,761.8	2,776.8	100.5
恋 瀬	2,329.0	2,360.8	101.3
瓦 部	2,646.4	2,636.8	99.6
林 部	2,121.0	2,144.4	101.1
小 松	2,700.4	2,725.2	100.9
計	20,938.6	21,078.4	100.7